

# 宇城市議会だより

UKI-CITY ASSEMBLY REPORT

29号  
2012年5月



三角西港と天門橋

## 平成24年第1回臨時会の概要

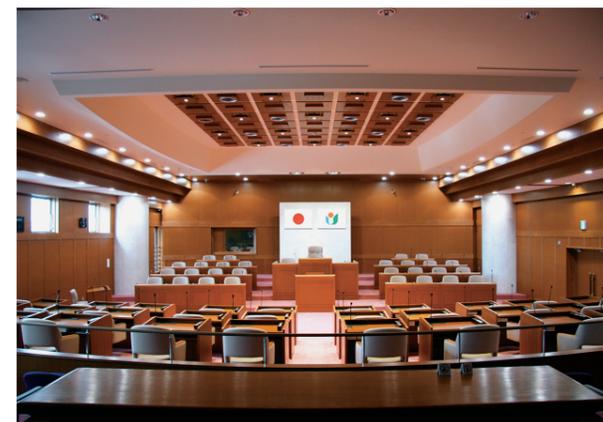
(平成24年3月27日)

### ○議案

番号	件名	年月日	審議結果
第38号	工事請負契約の締結について (豊野小中一貫校建設Ⅱ期(改築)工事)	H24.3.27	可決
第39号	平成23年度宇城市一般会計補正予算(第7号)	H24.3.27	原案可決

### ○発議

番号	件名	年月日	審議結果
第2号	TPP(環太平洋経済連携協定)参加反対の意見書(案)	H24.3.27	原案可決



## 議会の主な動き

(平成24年2月15日～平成24年4月30日)

2月17日	平成24年第1回宇城市議会定例会 (3月9日まで)
22日	議会運営委員会
23日	総務常任委員会・建設経済常任委員会
24日	総務常任委員会
27日	民生常任委員会
28日	民生常任委員会・文教常任委員会
3月1日	松橋駅周辺開発整備特別委員会
7日	松橋駅周辺開発整備特別委員会
21日	議会運営委員会
27日	平成24年第1回宇城市議会臨時会 戸馳大橋整備調査特別委員会

## 市議会を 傍聴しませんか

次の定例会は

**6月開会予定です。**

日程などの詳細は、議会事務局  
(Tel.32-1111)までお問い合わせ  
ください。

### CONTENTS

審議した議案等とその結果	2
委員会報告	4
一般質問	6
臨時会の概要	12
議会の主な動き	12



発行・編集／宇城市議会  
TEL 0964-32-1111(代表) FAX 0964-34-3557

# 平成24年第1回定例会

《会期：平成24年2月17日から3月9日（22日間）》

## ◎審議した議案等とその結果

### ○議案

番号	件名	年月日	審議結果
第1号	宇城市附属機関設置条例等の一部を改正する条例の制定について	H24.3.9	原案可決
第2号	宇城市特別職の非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	H24.3.9	原案可決
第3号	宇城市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	H24.3.9	原案可決
第4号	宇城市消防団条例の一部を改正する条例の制定について	H24.3.9	原案可決
第5号	宇城市税条例の一部を改正する条例の制定について	H24.3.9	原案可決
第6号	宇城市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	H24.3.9	原案可決
第7号	宇城市乳幼児医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	H24.3.9	原案可決
第8号	宇城市ふれあい農園条例の一部を改正する条例の制定について	H24.3.9	原案可決
第9号	宇城市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	H24.3.9	原案可決
第10号	宇城市下水道条例等の一部を改正する条例の制定について	H24.3.9	原案可決
第11号	宇城市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	H24.3.9	原案可決
第12号	宇城市不知火美術館条例の一部を改正する条例の制定について	H24.3.9	原案可決
第13号	宇城市立図書館条例の一部を改正する条例の制定について	H24.3.9	原案可決
第14号	宇城市公民館条例の一部を改正する条例の制定について	H24.3.9	原案可決
第15号	宇城市市道路線の廃止について	H24.3.9	可決
第16号	宇城市市道路線の認定について	H24.3.9	可決
第17号	公有水面埋立に関する意見について	H24.3.9	可決
第18号	権利の放棄について（市営住宅使用料）	H24.3.9	可決
第19号	権利の放棄について（水道使用料金）	H24.3.9	可決
第20号	平成23年度宇城市一般会計補正予算（第6号）	H24.3.9	原案可決
第21号	平成23年度宇城市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	H24.3.9	原案可決
第22号	平成23年度宇城市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	H24.3.9	原案可決
第23号	平成23年度宇城市介護保険特別会計補正予算（第3号）	H24.3.9	原案可決
第24号	平成23年度宇城市奨学金特別会計補正予算（第2号）	H24.3.9	原案可決

第25号	平成23年度宇城市簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）	H24.3.9	原案可決
第26号	平成23年度宇城市水道事業会計補正予算（第3号）	H24.3.9	原案可決
第27号	平成23年度宇城市下水道事業会計補正予算（第3号）	H24.3.9	原案可決
第28号	平成23年度国民健康保険宇城市民病院事業会計補正予算（第2号）	H24.3.9	原案可決
第29号	平成24年度宇城市一般会計予算	H24.3.9	原案可決
第30号	平成24年度宇城市国民健康保険特別会計予算	H24.3.9	原案可決
第31号	平成24年度宇城市後期高齢者医療特別会計予算	H24.3.9	原案可決
第32号	平成24年度宇城市介護保険特別会計予算	H24.3.9	原案可決
第33号	平成24年度宇城市奨学金特別会計予算	H24.3.9	原案可決
第34号	平成24年度宇城市簡易水道事業特別会計予算	H24.3.9	原案可決
第35号	平成24年度宇城市水道事業会計予算	H24.3.9	原案可決
第36号	平成24年度宇城市下水道事業会計予算	H24.3.9	原案可決
第37号	平成24年度国民健康保険宇城市民病院事業会計予算	H24.3.9	原案可決

### ○同意

番号	件名	年月日	審議結果
第1号	教育委員会委員の任命について（木村 紀雄氏）	H24.3.9	同意

### ○諮問

番号	件名	年月日	審議結果
第1号	人権擁護委員候補者の推薦について（松本 晟氏）	H24.3.9	「適任」と認め答申することに決定

### ○請願

番号	件名	年月日	審議結果
第3号	防災訓練実施に関する請願（閉会中の継続審査）	H24.3.9	不採択
第1号	障害者総合福祉法の制定を求める国会・国への意見書提出を求める請願	H24.3.9	採択

### ○陳情

番号	件名	年月日	審議結果
第2号	最低保障年金制度の創設を求める陳情（閉会中の継続審査）	H24.3.9	不採択
第1号	障害者施策に関する陳情書	H24.3.9	採択

### ○議員提出議案

番号	件名	年月日	審議結果
第1号	障害者総合福祉法の制定を求める意見書（案）	H24.3.9	原案可決

# 委員会 報告

今定例会に提案された議案の審査のため開催された常任委員会における審査の経過と結果を報告します。

## 総務常任委員会

### ●平成23年度一般会計補正予算(第6号)

#### ○総務管理費について

「企画費の市民提案型まちづくり事業費補助金で450万円減額補正してあるが、これは基準が厳しすぎるのが原因ではないか。まちづくりの基準の幅をもたせた上で、継続性を認めるとか、もう少し基準を緩めるような見直しはできないのか」との質疑に対して、「継続性については、

以前は認めていなかったが、現在は事業計画の一部を変更、または内容を一部充実することで認めるようにしている。また、要綱等についても使い勝手の良いように見直ししている」との答弁があった。

### ●平成24年度一般会計予算

#### ○総務管理費について

「駅周辺開発推進事業費の中で、土地購入費として1億3640万円計上されてあるが、どのような範囲で買収が計画されているのか」との質疑に対して、「駅前広場という事で、駅の東側において宅地1000平方メートル程度。また西側において農地8000平方メートル程度買収する計画である」との答弁があった。

次いで、「西側の排水計画はどのように考えているのか」との質疑に対し、「現在、調整池を含め、この地域の全体的な排水計画を土木課及び危機管理課と協議を行っている」との答弁があった。

また、財産管理費の不知火支所管理棟解体工事費190万円については、再利用も含

め、検討するよう意見があった。

## 建設経済常任委員会

### ●平成24年度一般会計予算

#### ○農業振興費について

「地域で育てる新農業人育成モデル事業と新規就農・農地集積事業はどういう事業なのか」との質疑に対して、「地域で育てる新農業人育成モデル事業は、熊本県で2地区指定された中の一つ、小川町宇土割営農組合が取り組む事業である。組合が新規就農者の研修生を受け入れ、3年後には本市内で農業経営が始められる形まで持っていこうとするもので、平成23年度から3か年の事業である。新規就農・農地集積事業は、毎年2万人の就農者を作らなければ農業後継者は育たないとする国の計画に基づき、新規就農者に対し、通算7年間補助金を支給するとし、さらに農業をやめて認定農業者に農地を貸与するか売却し、併せて農業機械も処分した場合、そ

の離農した農家に対し、協力金として補助金を交付するという事業である。また、農業をやめた農家が農地の集団化に協力した場合には、反当り50000円を補助するという二つの事業で、100%国の補助事業である。今後3月に県からの説明を受けるので、それを聞いた上で、農家に話を広げていきたいと考えている」との答弁があった。

### ●平成24年度水道事業会計予算

#### ○営業費用について

「原水及び浄水費が前年度より減額されているのはどういふ理由か」との質疑に対して、「浄水場6か所を再点検し、薬品を見直し、無駄を省いたことで減額した」との答弁があった。これを受け、「薬品費や維持管理費を抑えることは非常によろしいことである。上天草・宇城水道企業団からの同じ原水を同じ価格で買っているのに、宇土市と1立法経当たり50円も60円も違うのは大きな問題で、定住化促進等に一番に影響してくる。企業団との話合いの場

を作り、何とか4市の料金を統一されたい」との意見があった。

## 民生常任委員会

### ●宇城市乳幼児医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

「今回は小学3年生までとなっているが、ゆくゆくは小学6年生、中学3年生までと考えているのか」との質疑に対して、「財源の関係もあるので、とりあえず小学3年生までということである。今後、この段階を経て計画が立てられると思う」との答弁があった。これに対して、「定住化促進や子育て支援のためにも是非このことについては、今後も検討をし、中学3年生まで無料化にしていただきたい」との意見があった。

### ●平成24年度一般会計予算

#### ○徴税費について

「コンビニ収納システム改修委託料が計上されているが、コンビニ収納は収納率の効果があまり望めない、利便性の

みとの説明があった。費用対効果が望めると思ったから計上したのか、利便性があるから計上したのか」との質疑に対して、「昨今の生活形態の変化により、執務時間内に納付できないという方がかなりいる。そのため24時間、また365日どこでも納付できる環境づくりは必要と考えている。また、平成20年度から延滞金の徴収強化にも当たっており、そういったところからも、必ずしも費用対効果がな

### ●平成24年度国民健康保険特別会計予算

#### ○保険給付費について

「保険給付費の伸び率が非常に大きく、前年度と比較すると1億6000万円増えている。団塊の世代が入ってきて、これだけ増えているという事は、今後も医療費の額は当然伸びていく。基準外繰入れをある一定に維持していかないで非常に危険な状態ではないか。将来的な展望をどう考えているのか」との質疑

に対して、「平成27年度から交付税が一本化算定になると、同じ金額を繰り入れるということは、なかなか難しい状況となる。対策として、滞納金の整理、医療費を抑える特定健診等を進め、それでも財政をひっ迫するということになれば、繰入れという形になる」との答弁があった。

## 文教常任委員会

### ●平成23年度一般会計補正予算(第6号)

#### ○教育振興費について

「私立幼稚園奨励補助金130万4千円が計上しているが、内容はどのようなものか」との質疑に対し、「幼稚園も保育園と同様に、第3子は無料といった減免措置があり、この分を各幼稚園に補助するといったシステムで、現在8つの園に補助しているが、対象者が年度当初の予想より30人ほど多くなる状況であるため、今回補正するものである」との答弁であった。

### ●平成24年度一般会計予算

#### ○小学校費について

「学校管理費の中で扇風機設置工事費1215万円が計上してあるが、具体的にどのようなに設置するのか」との質疑に対し、「1教室当たり2台とし、天井に設置する」との答弁があった。

#### ○世界遺産登録推進費について

「三角西港保存活用計画策定委員会委員報酬26万円が計上してあるが、委員会の内容と地区住民への報告はどのようなになっているのか」との質疑に対し、「この策定委員会は今年度1回と平成24年度に2回予定している。また委員会の中には地元の見解が反映できるように地区の区長に入っていたら、委員会終了後に住民への報告会を行うこととしている」との答弁があった。



# 一般質問

中山弘幸 議員

## TPP（環太平洋経済連携協定）について

**問** TPPは全ての関税を撤廃する究極の自由貿易協定であり、独立国なら当然ある関税自主権をはじめ、国家の主権まで放棄を迫る開国、亡国の異常協定である。国民の生命と財産、暮らしを守るための国家の主権を放棄してまでTPPに参加する理由はない。  
**市長** TPPは、これまでの経済連携協定と全く異なり、関税撤廃も例外措置を一切認めず、また医療、保険、食品安全性など、あら

## 教育問題について

豊田紀代美 議員

**問** 県立松橋高等学校女子サッカー部新設における本市支援について問う。  
**教育部長** 宇城市サッカー協会やクラブチーム、総合型地域スポーツクラブと連携を取り、積極的に取り組む。  
**問** JFAアカデミー熊本宇城な

ゆる分野に関する国内の仕組み、基準の変更を強制するものだと思っている。またISDS条項による内政干渉ごとき事態、ラチェット規定により自由化の後退を許されない規定、一旦加盟してしまえば国益に合わなくても容易に改善できない状況である。全国市長会、九州市長会、また地元熊本県市長会でも反対決議をしており、私としても断固反対するつもりである。

**問** 食の安全保障、また子どもたちの学校給食に直結する食の安全性について、執行部の見解は。  
**市長** BSE疑惑のある食品や遺伝子組換え食品、多数の食品添加物、食品農薬残留値に対する規制の緩和を要求されると予想され、日本における食品の安全基準が崩壊すると認識している。

**問** 公共工事に対する影響について、執行部の見解は。

**市長** これまで開放されていないかった市区町村の公共工事案件にも海外企業に門戸を開くことになり、入札基準が引き下げられ、外資の公共事業参入機会が拡大される。その結果として地方の公共事業を通じて地域の経済を支えてきた中小企業が安い労働力を背景とした海外企業とのし烈な競争にさらされ、地元企業の受注機会が激

どの協力を得て、底辺の拡大支援について問う。

**教育部長** 宇城市サッカー協会に指導者派遣の協力依頼や練習場の確保に向けて積極的に協力をする。



松橋高校女子サッカー部

**問** 現役Jリーガー等の人的支援について問う。

**教育部長** 県サッカー協会と連携し、現役Jリーガーの巻選手やロアソン熊本等の招致を行い、底辺の拡大に積極的に取り組む。

**問** 新年度より中学校で必修となる武道の指導体制について問う。

**教育委員長** 武道の指導技術や安全性を考慮した授業についての講習や研修はすでに県教委が行っている。市教委でも先生方が参加しやすい環境を作り、道具や設備、施設等の環境面のサポートを全面

減する可能性がある。

**問** 問題はTPPの危険性、本質をいかに広く市民の皆様に伝えるかである。市長にTPP参加阻止へ向けて是非先頭に立っていただきたい。

**市長** 一点目は慎重に判断したい。二点目は行政として旗振り役をする考えはないというのが現状の考えである。

## 保育園の運営について

**問** 三角地区の公立保育園の統合について、執行部の今後の対応についてお尋ねしたい。

**健康福祉部長** 地元三角の私立保育園代表の方々と市長を交えて懇談した際、私立3園も含めて検討してほしいという要望も出された。今後ともそれぞれのご意見や要望等を勘案しながら取組を進めていきたい。

## 渡邊裕生 議員

## 介護保険法の改正に伴う本市の対応について

**問** 4月から始まる第5期高齢者保健福祉計画並びに介護保険事業計画について、介護保険法の一部改正の概要と介護保険料改定に伴

的に行う。

**問** 教育委員会委員の任命について、教育委員会の一層の活性化や本市の教育行政の充実を図るための公募導入について問う。

**市長** 市民の行政の参画を推進し、行政の透明性、開かれた市政の実現に向け、公募制度導入を十分研究する。

## 農業予算について

**問** 合併後の農業予算のひっ迫状況や直近の農業センサスの分析、さらには、本市農業に元気が出るためのプロジェクトチーム立ち上げの提案後の進捗状況について問う。

**経済部長** 農業予算は合併後約5%前後を推移しており、長引く景気低迷等から取り巻く環境は悪化し、さらにTPP問題が農業への危機感を募らせている。農業センサスの厳しい結果が出ており、販売農家は5年間で333戸、対比12・3%の減少、専業農家は40戸、対比3・6%減少である。後継者育成確保や農業所得向上策のため「宇城市農業経営・生産対策推進会議」を20人で構成し設立した。平成25年度予算に反映できればと考えている。

う本市の考え方について問う。

**健康福祉部長** ①医療と介護の連携強化②介護の職場に従事する人材の確保とサービスの質の向上③高齢者の住まいの整備、有料老人ホームなどにおける前払い金の返還に関して利用者保護規定の追加④認知症対策の推進⑤保険者による主体的な取組、本市が介護保険事業計画をきちんと立てて連携をとって事業を調整、計画実施をしていくということである⑥保険料の上昇の緩和で、基金等の取崩しをしながら軽減を図る―以上6点が改正の要点である。



保険料金については、基準月額が5300円と今回5000円上昇したが、8段階10区分、その中の第3段階、第4段階を少し細分化して低所得者への優遇措置、また第5段階以上の高額所得者の応能負担制という形で導入した。今回、1億6000万円ほど基金を取り崩し保険料の抑制をしたところである。  
**問** 高齢者が住み慣れた地域で

## 椎野和代 議員

## 職員の能力向上について

**問** 今までのような研修をしてきたのか。その成果は。

**総務部長** 全職員の資質向上を目指す『基本研修』、行政課題における職員の総合的な能力の向上を図ることを目的とした『選択研修』、専門知識や技術を習得させることを目的とした『派遣研修』を実施している。成果については市民の皆さんにご判断いただくしかないのとは思っている。

**問** 職場内のコミュニケーションはできているのか。

**総務部長** 管理職が日常的に職員とのコミュニケーションを図ることのできる職場環境の確保に努めている。心の健康、メンタルヘルス面での対策の充実、強化が重要である。

**問** 部署と部署の連携はとれているのか。

**総務部長** 活発なコミュニケーションを図ることににより、組織内の相互調整を行い、部署間の連携強化によって、本市の行政運営

五嶋 映司 議員

施政方針について

問 今年48億円の財政調整基金(市の貯金)が残る事になってい... 平成23年に見直した財政計画より10億円、平成22年の財政計画より35億円も多い。国が世の中不景気だから地域を活性化するため使いなさいと増やした25億円く... さいの交付金がほとんど貯める方に回ってしまった、このことをどう思う。

市長 現実として3年後には本市は財政を組めない試算がある。48億円貯めた金を使っても2年しか持たない。今後市政を運営していくには、我々も給料も減らさなければならぬ。行政を怠っているとは思っていない。

問 職員の人権と男女共同参画は推進できているのか。 総務部長 同和問題、子ども、高齢者、障害者など様々な課題を上げ、あらゆる差別解消に向けた研修を実施している。組織については、男女間格差のない人事配置を基本として、行政サービスの高揚を図るため、男女を問わず意欲と能力のある職員を積極的に登用している。

問 基金の問題、もっと有効な使い方をしていただければ、本市が沈滞化してしまふ。そのことを改めて指摘しておく。 福祉部長 民生費の総予算額は

石川 洋一 議員

行財政改革について

問 財政健全化に向けた改革はどのようになっていくのか。 市長 ①各種施策の優先順位のしゅん別、重点化、効率化②効率的で持続可能な行政体質への早急な転換③真に必要な行政サービス水準維持、充実に努めている。

水道料金について

問 水道料金を安くする方策として、水代の1割当たり1000円との価格変更の可能性は。 土木部長 構成市の水道料金を考え水道担当部局、財政部局で構成する委員会で議論していくという回答を得ている。

B&G体育館周辺整備について

松下 倫二 議員

問 南側から西側一帯にかけ、以前より植栽してある周辺一帯の公園化を望む。 教育部長 早急に周辺の植栽等のせん定や草取り、ベンチ等の設置を行い、市民の憩いの広場としての整備に取り組む。



宇城市三角 B&G 海洋センター

スポーツ振興について

問 県営野球場の誘致活動について。 市長 熊本県、本市にはいろんな運動場、体育館もたくさんあるが、県大会、全国大会の催しをする一括総合グラウンド的なのは本市にはない。これは本市だけでなく

教育長 市民同士の絆の醸成、リーダーの育成、十年先を担う子ども健全育成を二本柱としている。 豊野小中一貫教育の準備がすすんでいるが、他の地域の一貫教育についても早急に進めるべきである。委員会としての基本構想、事業計画、実施計画を策定し推進していただきたい。

園田 幸雄 議員

行政改革について

問 本市の各種審議会の活性化のため、審議会委員の公募制と女性委員の増員について。 市長 本市において地域審議会等30あり、総員517人のうち女性の登用が136人、登用率26.3%になっており、現在女性の社会進出は進み、労働力人口は40%で政治や経済、社会等で大きな役割を果たしている。しかし政策方針決定過程への女性の参画は進んでいない状況である。本市では女性の登用率30%以上を目指し、改選時に女性の登用を図る見直しを行い、広報での公募を含め、審議会の活性化を図っていく。

教育問題について

問 全国学力テストの結果と学力

問 三角振興基金が積み立てられているが、三角町の振興策は。 企画部長 定住化の促進と観光業の振興等の取組が想定される。今後検討委員会等の提言に基づき検討してまいりたい。

地域振興について

問 フレリー航路再開に向けた進捗状況は。 市長 新年度で運行形態等を含め、専門性を持ったコンサルに委託し、その結果を精査し、最終決断をしたいと思う。航路再開の方針は今も変わっていない。

教育行政について

問 本市の教育理念は。

**教育部長** 現在の遊歩道を利用し車止めを設置し、安全なウォーキングコース整備を行っていききたい。グラウンド整備は関係部局と協議しながら、考えてまいる。

**市長** 現状は認識している。早速定期的な植栽などのせん定、草刈り、ベンチなどの設置を行うよう指示していく。

### 下水道整備事業について

**問** 三角地域は下水道整備が農業集落排水のどの方法で整備するか。時期としては何年に説明会、整備開始するのか。

**土木部長** 下水道加入時の自己負担や料金等についてのお知らせをした上で、平成24年度から地区別に順次アンケート調査を行い、事業に対する意向を把握し、水洗化の基本方針を考えていく。

**問** 大岳、郡浦、戸馳、大田尾地区等は合併浄化槽にしてはどうか。

**市長** 生活環境改善整備は重要課題と認識している。アンケート調査を行い、結果を踏まえ基本方針を考えていく。

### 三角地区過疎対策について

**問** 三角雇用促進住宅を活性化の一環として定住促進住宅としての

戸別通知、広報紙、健康教室などを利用して周知、併せて未受診者の方への電話での受診勧奨などいろいろな方法で周知、啓発するとともに、休日での健診日の設定とか複数の健診場所を設けるなど、受診しやすいような形を進めているところである。

### 施政方針について

**問** 消防団員の確保及び市職員の消防団加入状況について問う。

**市長** 市は消防団を地域防災体制の中核的存在と位置付けており、今後も大きな役割を期待している。市内の事業所に従業員の消防団入団の理解を深め、消防団協力事業所としても認定を市内各地に展開



考えは。

**企画部長** 民間アパートなど多くの空部屋がある中で、市として安い家賃で新たに住居を提供することは、民間経営を圧迫する懸念もある。

**問** 民間活用がなかった場合は早めに更地にしないと、周辺団地に廃墟ができるのではないかと。雇用定住促進計画検討会議や三角活性化検討委員会等で議論を願う。

### 福永貴充 議員

#### ごみ問題について

**問** ごみ減量化目標について問う。

**市民環境部長** 廃プラスチック類と生ごみを資源化すれば、ごみゼロに近づくと考える。

**問** 施政方針にて「生ごみの資源化に段階を踏んで実施してまいります」とあるが、具体的にはどういったことか。

**市民環境部長** 民間処理施設に搬入し、肥料として農家に有料で提供。順次、本市全体に広げたいと考えている。

**問** 市長の考えを問う。

**市長** クリーンセンターの地元の皆さんが、環境負荷が掛かり、苦痛を感じておられる現状がある。本市のごみ減量化、すなわち市民

している。

**総務部長** 職員の加入状況は30歳以下で未加入職員が9人いる。災害に対しては本市一丸となって立ち向かわなくてはならない。その中で市職員は地域貢献の意味から地域に溶け込み、住民と共に郷土を守る責務がある。未加入の職員の加入促進に全力を上げて取り組みたい。

#### 観光振興について

**問** 対応策は考えているのか。

**経済部長** 各地区には観光資源となる名所、食、物産等がある。PRのため、それらを集約した観光ガイドマップを作成し、九州新幹線全線開通に伴って1万部増刷を行い、市内外の旅行者、観光施設等182か所に配布している。この名所、食、物産を観光資源と捉え三角西港、戸馳島、不知火町松合において緊急雇用創出事業県補助金を活用して食、物産エリアの演出等に加え、観光客の入込み及び滞在時間を延ばす観光商品化を実施、また実施予定としている。

### 清見友一 議員

#### ごみ問題について

**問** ドイツの中でもフライブルグ市は、環境政策における世界的な

一人一人に協力をいただくことが問題を共有し、地元のご理解を頂ける一歩と考える。

### 市営住宅について

**問** 今後の方向性について問う。

**土木部長** 宇城市営住宅長寿命化計画を策定する予定。団地ごとの診断カルテを策定し調査をし、今後の住宅管理方針や建替え計画に反映させる。

### 自主財源について

**問** 広告事業の現状について問う。

**総務部長** 市のホームページのバナー広告より平成23年度は37万円の歳入。窓口のお客様用封筒を民間の広告料で作成、提供いただき年間作成費用27万円の削減。市民課窓口の広告付き番号案内表示は、設置費用及び運営上の費用約300万円を広告費用で賄う。



市民課窓口の広告付き番号案内表示

先進都市、ドイツの環境首都と称号を受けており、その都市で研修してきた。政策を見ると、本市とそう大きく変わることはなく、ごみを4種類に分けているぐらいであまり大してこれがすごいなというところは実際なかった。しかし、行政が目標をしっかりと立て啓発すること、市民がそれに対して動いている。ごみは可燃物、不燃物という考え方がなく、リサイクルするものは全てリサイクルする。目標値も普通で考えるところだが、削減を目標とするところだが、フライブルグ市では目標値を、どれだけ再利用したか再利用率の目標を決めていた。例えばプラスチック、目標リサイクル率60%、達成率128%。紙パック、目標再利用率60%、達成率74%。ボール紙、目標161%である。ほかにも10項目ほどあるが、全てが目標値を上回っている。生ごみはバイオマスでエネルギーに転換、一部は肥料化にしている。年間30万トあったごみが10年間で3万トまで減らすことができたという。フライブルグ市では行政がしっかりと政策、啓

**問** 他の自治体では積極的に取り組んでいるところがある。本市ももっと積極的に広告事業に取り組みべきでは。

**総務部長** 広報紙での広告収入、市の封筒への広告掲載等を考えている。あらゆる資源を積極的に活用した自主財源確保に取り組みしていきたい。

### 道の駅つき周辺について

**問** 道の駅つき周辺の今後の交通状況について問う。

**企画部長** 道の駅西側の交差点に、平成25年1月頃、信号機が設置される予定。

### 坂本順三 議員

#### 施政方針について

**問** 成人の健康づくり、保険事業の推進について問う。

**健康福祉部長** 生活習慣病はいつでも普通の生活習慣に起因しているということ、それと自覚症状がない、発症予測が可能であるなど特徴があるわけだが、検診で発見をして生活習慣を改善することができ、そういう疾病でもある。そのような意味で、住民の方々にまずは検診の重要性とか必要性を理解していただくということ、

動に移しているからこのような結果が出たと思われる。本市では、ごみの削減のためには市民一人一人の環境に対する意識化が最も重要だと思われるが、どのような方法で進めていくのか。



**市民環境部長** 可燃ごみの減量化は、廃プラスチック類と生ごみを資源化すれば、ごみの量は極端に減少する。議員のご指摘どおり市民の方にいかに協力をしていただけるかがごみの減量化の成功するカギを握っているということがいえると思う。議員のお話にありました、環境の先進地であるドイツの手法を取り入れ、また本市に合う方法に変えながら取り組みたいと考えている。